

船舶事故等調査報告書（軽微）

1 船舶事故

計 74 件

2 船舶インシデント

計 32 件

合 計 106 件

平成21年3月27日

運輸安全委員会

船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

- (函館事務所)
- 1 漁船第一吉祥丸乗揚
 - (仙台事務所)
 - 2 漁船第三十丸定丸運航阻害
 - 3 漁船第八不動丸運航不能（機関損傷）
 - 4 貨物船第三新栄丸運航阻害
 - 5 貨物船新釧路丸運航阻害
 - 6 引船第十八英祥丸運航不能（機関損傷）
 - 7 油送船幸丸運航阻害
 - 8 漁船第三蛸島丸漁船第十七両合丸
漁船第五千秋丸衝突
 - 9 貨物船祥栄丸座洲
 - 10 貨物船第七十八親力丸運航阻害
(横浜事務所)
 - 11 引船第八良洋丸引船列乗揚
 - 12 油送船第十一豊栄丸座洲
 - 13 貨物船第一たかお丸乗揚
 - 14 油送船第八ながと丸座洲
 - 15 ケミカルタンカー第十友昇丸乗揚
 - 16 油送船第六富士宮丸乗揚
 - 17 作業船繁栄丸被引土運船 B-302 乗揚
 - 18 貨物船第二山優丸座洲
 - 19 貨物船第一豊栄丸座洲
 - 20 貨物船第七住力丸乗揚
 - 21 油送船第二雄豊丸乗揚
 - 22 旅客船シーワープ運航阻害
 - 23 漁船坂丸漁船米丸衝突
 - 24 漁船丸又丸衝突（灯浮標）
 - 25 貨物船第十六巧衛丸座洲
 - 26 貨物船第八新栄丸乗揚
- (神戸事務所)
- 27 貨物船第十一中央丸乗揚
 - 28 貨物船第二十一ニッケル丸衝突
(岸壁)
 - 29 油送船ナバリノⅢ貨物船日鵬丸衝突
 - 30 貨物船第八栄進丸乗揚
 - 31 押船第八松陽丸乗揚
 - 32 作業船第七松陽丸乗揚
 - 33 貨物船大成丸乗揚
 - 34 水先船べいぱいろっと7衝突（岸壁）
 - 35 貨物船さちよどり運航不能（機関損傷）
 - 36 貨物船第十八榮福丸乗揚
 - 37 貨物船第一天神丸乗揚
 - 38 ヨットフード一衝突（のり養殖施設）
 - 39 油送船第五八照丸乗揚
 - 40 押船第十七菊清丸被押被押起重機
船第18菊清号乗揚
 - 41 漁船第八勝栄丸乗揚
 - 42 貨物船第八実穂丸乗揚
 - 43 油送船第三忠英丸乗揚
 - 44 油送船英雄丸運航阻害
 - 45 貨物船第拾壹住吉丸乗揚
 - 46 貨物船第八勇亀丸衝突（荷役施設）
 - 47 貨物船第五ゆたか丸座洲
 - 48 貨物船第五徳神丸衝突（灯標）
 - 49 貨物船クイーン オーキッド火災
(広島事務所)
 - 50 押船第三清水丸被押バージ第二十

- 四清水丸乗揚
- 51 押船月星丸被押台船月星一号乗揚
- 52 押船神佑丸被押台船神佑号座洲
- 53 押船第二十五住力丸被押バージ S
— 1 8 乗揚
- 54 貨物船第三新栄丸乗揚
- 55 貨物船新英寛座洲
- 56 貨物船清勇丸乗揚
- 57 水上オートバイヨシオ号同乗者負傷
- 58 貨物船第八浪花丸乗揚
- 59 貨物船蛭子丸乗揚
- 60 貨物船第壱平成丸乗揚
- 61 貨物船第十興洋丸漁船栄丸漁具衝突
- 62 給水船第二十八幸水丸座洲
- 63 貨物船第三金生丸座洲
- 64 貨物船氏神丸座洲
- 65 貨物船日和丸乗揚
- 66 貨物船宝栄丸乗揚
- 67 押船親龍 3 被押バージバクシン乗揚
- 68 貨物船日の出丸乗揚
- 69 貨物船第参拾宝来丸乗揚
- 70 貨物船こんびら II 座洲
- 71 貨物船第三正啓丸座洲
- 72 貨物船末広丸座洲
- 73 貨物船泰山丸座洲
- 74 貨物船第八長門丸乗揚
- 75 引船新興丸引船海興丸衝突
- 76 押船清丸被押バージ J F E N I 座洲
- 77 貨物船大祐丸乗揚
- 78 貨物船日徳丸衝突（岸壁）
- 79 漁船第一由航丸養殖施設損傷
- 80 貨物船第七大共丸運航阻害
- 81 引船早瀬丸引船サルベージクイーン衝突
- 82 漁船第三十一住宝丸養殖施設損傷
- 83 引船海勇丸引船列乗揚
- 84 貨物船シーヌリ漁船忠弘丸衝突
- 85 貨物船サンスピリット乗揚
- 86 貨物船長宝丸乗揚
- 87 貨物船海邦衝突（岸壁）
- 88 交通船プリンセス衝突（かき養殖施設）
(門司事務所)
- 89 押船金栄丸運航不能（機関損傷）
- 90 漁船第二十六日昇丸運航不能（機関損傷）
- 91 油送船第三昌宝丸運航不能（機関損傷）
- 92 漁船喜宝丸漁船仙栄丸衝突
- 93 貨物船第二住力丸引船第五天翔丸
引船列衝突
- 94 モーターボート龍正丸モーターボートフクリョウ衝突
- 95 漁船第二十八開洋丸乗揚
- 96 貨物船美保丸乗揚
- 97 押船快星丸被押バージ快星 1 号座洲
- 98 貨物船シーオリオン（韓国）衝突
(シーバース)
- 99 漁船幸栄丸乗揚
- 100 貨物船ハンジン ダンピア（韓国）
漁船第八初漁丸衝突
- 101 漁船茜丸乗揚
- 102 引船第二十五洞海丸台船船名不詳
運航不能（推進器損傷）
(長崎事務所)

- 103 油送船第二十八龍洋丸乗揚
- 104 砂採取船サンド1号乗揚
- 105 引船山陽丸乗揚
- 106 漁船第三十一新東丸運航不能（機
関損傷）

船舶事故等調査報告書

平成21年2月26日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008長第35号		
事故等名	油送船第二十八龍洋丸乗揚		
発生年月日時刻	平成20年2月19日06時30分ごろ		
発生場所	熊本県八代港 八代港防波堤灯台から真方位201° 1, 250m (北緯32° 30' 15"、東経130° 31' 40")		
事故等調査の経過	調査の概要: 平成20年12月1日 長崎・地方事故調査官が海難報告書を精査のうえ、船舶所有者から電話聴取 原因関係者からの意見聴取: 意見なし		
認定した事実	船種・船名・総トン数 油送船 第二十八龍洋丸 699トン 船舶番号(IMO 番号) 133467 船舶所有者等 大鷹海運株式会社		
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等			
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)		
負傷者	負傷者 なし		
損傷	推進器及び船底に擦過傷及び凹損		
事故等の経過	本船は、A重油を積載して水島港を発し、熊本県八代港に入港し、錨地で待機したのち、抜錨して同港の油槽所桟橋に向けて掘り下げ水路を北上中、船首方を漁船が左方に横切り、同水路上に停留したため、右舵を取って避航しようとしたところ、水路を外れ、平成20年2月19日06時30分ごろ、浅所に船底が接触した。 当時、天候は晴で、風力2の北西風が吹いていた。 後日、上架したところ、船尾船底に凹損を生じていた。		
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 狹い掘り下げ水路において、前路で停留した漁船を避航する場合、小角度の転舵によるべきところ、本船は大角度の転舵により水路を外れ浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。	
原因	本事故は、本船が大角度の転舵で水路を外れたため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。		
その他の事項	なし		